

前摂政家歌合 嘉吉三年

八十二番 左

茂成朝臣

末とほき君がへん代はながさかの

ひむろも絶えぬみつきなるべし

右

秦兼任

風そよぎほたるみだるる夕ぐれに

夏と秋とをみな月の空

左、御代ながさかの氷室、堀河院百首師頼卿の歌に  
同じきにや、右の風そよぎも、門田のいなばあまが  
きの萩などあらまほしくや侍らん、又為持